

指定討論 コメント

金 賢善 (明知大学)

2019年12月31日時点で、湖北省の武漢で発生した新型コロナウイルス (COVID-19) がアジアを越え、ヨーロッパや南米にまで拡散し、全世界が非常事態となっている。発生から1年が過ぎた現在 (2020年12月31日) まで、全世界における感染者数は8200万人を超え、死亡者は180万人を超えた。今日の新型コロナウイルスの流行と防疫という現実的問題に関する三人の先生方の研究は非常に大きな意味を持つ。伝染病や防疫、環境や衛生などのテーマに関心を持っている私としては、三人の先生方の研究を通じて個人的に勉強できる良い機会となった。

まず、朴漢珉先生と市川先生の研究で、開港場の検疫に際して朝日両国が、主導権の問題による摩擦を経験したという事実はとても興味深いものであった。二人の先生の研究を通して、感染症に対する防疫を主導した国家が、近代文明を主導するという事、そして感染症を克服するために国際的な連帯や協力が必要であるという教訓についてもう一度確認することができた。

一方、コロナ危機と関連して、アメリカやフランス、イギリスなど、いわゆる「強大国」において高い発病率と死亡率が確認できる。「強大国」の対処は、想像以上に無能であり、成す術がなかったように見える。余新忠先生の「中国衛生防疫メカニズムの近代的発展と性格」は、このような問題と関連して、近代的な衛生防疫の意味について個人的に再考する良い機会となった。加えて、先生が述べていたように、現在、そして未来の中国の衛生の構築における病弊を正すのに、大きな教訓になると考える。余談であるが、余先生との縁について申し上げれば、華中師範大学に在学していた時、先生が大学で特講をされるという話を聞いて、興奮のあまり眠れずに先生の特講に出たことがある。気の小さい私は先生と写真を撮ったり、サインを求めたりできなかったが、今日先生にお会いすることができたことを光栄に思う。個人的に気になることをいくつか質問させていただきたい。

1) (中国語版論文の) 4ページで、「近代の衛生防疫における明確な近代性と外来性にのみ着目し、伝統的な要素と勢力を軽視してはならない。公衆衛生と関連する観念や行為が、清朝末期以前の中国社会においても厳然として存在したことを確認することができる。ただ、民間の有力者がこれを主導したため、その表出の仕方が個別的で自主的であり、公権力の介入が欠如したという特徴を見せているだけである」と指摘している。しかし、先生は既存の研究において、

民間の有力者が医薬局事業などを行う時、国家及び官僚との間で幅広い協力が行われたことについて言及したことがある（然而我们于此看到，随着社会的发展，非但没有出现国家和官府同社会力量的日趋严重的对立，相反却在兴办医药局之类的事业中出现更多、更为广泛的合作。〈清代江南疫病救疗事业探析-论清代国家与社会对瘟疫的反应〉，p.55）。もしそうであれば、官僚との協力の過程で公権力が介入したり、もしくはそれに相応する権力が行使されたりしなかったか、気になる。

2) (中国語版論文の) 8ページで、「(近代の公衆保健) の近代的動力は、やはり中国文明そのものに内在しているものすごい自生力と自強精神であり、代々に受け継がれてきた社会的な災厄に対する高い関心と重視にあったという点で、我々は中国の感染症対応から伝統が持つ意味を容易に無視することはできないだろう」と言及している。伝統社会の東アジアにおいて各種の災害が発生した時、為政者はこれを実政に対する天の譴責だと見做し、このような側面から「社会的な災厄に対する高い関心と重視にあった」と理解していると思われる。しかし、外国人の立場から見れば、「中国文明そのものに内在しているものすごい自生力と自強精神」が正確に何を意味するのか、多少理解に苦しむところがあり、誇張した解釈ではないか、疑問に思う。

3) (中国語版論文の) 5ページで、「衛生的視点から行われた近代化の過程の多くの「進歩」が社会的な脆弱階層の利益を犠牲にする代価を払うことは日常茶飯事であった」と言及しているが、これと関連して、脆弱階層の犠牲と社会的な不満に言及した文集や記録が存在するかが気になる。先生が述べたように、脆弱階層の利益を犠牲にすることが正しいとは言えない。しかし、現在の韓国の状況を見れば、多くの人々が公共の利益と健全な共同体を形成するために、ある程度の犠牲と不便を受け入れている。反面、西欧においては個人の「自由」を絶対的価値としているため、「公共の利益」を志向する社会的な合意が見えないのであり、そのためこれをコロナの拡散の一つの原因として挙げることもある。清代において疫病が発生した時、民間勢力が国家の利益をある程度考慮していたように、当時の中国の民間レベルでは健全な共同体を形成しようとする社会的合意はなかったのかが気になる（社会力量的领导者-乡贤-一般都深受传统儒家伦理道德的影响，他们在追求自己私利的同时，也会多少顾及地方社会和国家的利益。〈清代江南的瘟疫与社会〉 p.288）。

伝染病は特定の国家や地域に限定されず、人類全体が関心を持って共に克服しなければなら

ない課題となった。東アジアという地域を伝染病と関連して一つの地区として設定し、研究することはとても大きな意味を持つものであり、今日、先生方の研究と討論を通して現在進行中の、そしてこれから迫ってくる伝染病の流行を克服するための示唆を得ることができると期待する。